

## 「グローバル架け橋研究支援」実施要項

### 1 目的

保健医療分野での研究にすでに関わっている、もしくは新たにスタートを希望する女性研究者を支援することで、新たに国内のみならずグローバルな研究の増加、活性化を推し進めることを目的とする。

研究領域について

- 例) ①架け橋研究 基礎医学と臨床工学の間をつなぐ医工理の架け橋研究  
②国際共同研究 新たな国際研究交流の増加を目指す研究  
③AI 研究 保健医療分野での AI 研究推進のための研究  
④その他

### 2 実施主体

女性医療人キャリア形成センター ダイバーシティ環境整備事業推進室を実施主体とする。なお、本制度は令和3年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」の一環として実施する。

### 3 制度の内容

対象者が各研究に積極的に携わるために『グローバル架け橋研究支援金』により支援する制度。

### 4 実施方法

制度の実施方法については、以下の通りとする。

#### (1) 応募条件(対象者)

- ・東京女子医科大学に在籍する女性医師等女性研究者(教授、非常勤、大学院生は除く)
- ・国際的な共同研究に関する応募の場合は海外の研究者(国籍・性別問わず)と共同研究を遂行していること
- ・原則として本支援終了後2年間は本学に在籍し後進の育成として活動できること \*新たな後進育成のメンター
- ・応募には、所属長の許可を必要とする。
- ・年齢制限はないが、45歳程度までの若手女性研究者を優先する。
- ・応募している研究課題に対して、他の組織からの助成金を受けていても差し支えない。
- ・1人につき1件のみの応募とする

- (2) 募集締切日  
ホームページに掲載する。 ※原本（印刷）事務局必着
- (3) 募集人数  
若干名
- (4) 支援金総額  
一人当たり上限 40 万円  
ただし年度繰り越し不可
- (5) 応募書類  
履歴書(学歴・職歴)、申請書、業績目録（様式 2-1、2-2）  
※応募書類は採否に関わらず返却しない。
- (6) 応募方法  
女性医療人キャリア形成センターホームページ掲載の「グローバル架け橋研究支援申請書」等をダウンロードし、必要事項を記入の上、封入し、募集締切日必着で女性医療人キャリア形成センターまで持参するかメールボックスに投函する。  
なお、その際、封筒には朱書で「グローバル架け橋研究支援申請書」在中と記載すること。
- (7) 選考方法  
書類審査・面接審査の結果を踏まえて支援対象者を決定する。
- (8) 支援金の使途  
原則、研究に直接要する消耗物品の購入費用に必要な費用とする。  
ただし、研究に不可欠な備品購入の場合は事前に事務局まで要連絡。  
（※消耗品以外購入の場合は事務局へ事前連絡必須）
- 《備品》 例：プロジェクターなど  
甲備品：耐用年数が 1 年以上のもので、取得額又は評価額が 1 点  
（又は 1 組）につき 20 万円以上の物品  
乙備品：耐用年数が 1 年以上のもので、取得額又は評価額が 1 点  
（又は 1 組）につき 1 万円以上 20 万円未満の物品
- 学会参加費用及び旅費は対象外とする。
- (9) 採否通知  
面接審査から 1 週間程度を目途に申請者にメールで通知する。  
なお、採否の理由についての個別の照会には回答しない。
- (10) 事業期間  
年度単位とする。詳細はホームページに掲載する。

(11) 支援金受領者の義務

- ①定められた法令、指針等の諸規程を遵守して研究を計画、実施すること
- ②研究実施計画に基づき、支援金を適切に使用し管理すること
- ③支援決定以降においても研究内容、成果、支出項目等に大幅な変更が生じた場合は速やかに報告すること
- ④物品等の発注を1月末までに完了し、支払いに関する証拠書類および事業成果報告書を2月末を目途に提出すること
- ⑤翌年のダイバーシティ環境整備事業報告会等にて成果発表を行うこと
- ⑥翌年度以降、後進の指導者としての活動を行うこと
- ⑦原則として本支援終了後2年以内に原著論文提出(論文内に謝辞として本事業を記載すること)

【和文】本研究は科学技術人材育成費ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)の助成を受けたものである

【英文】This work was supported by Funds for the Development of Human Resources in Science and Technology, Initiative for Realizing Diversity in the Research Environment.

※①～⑦を実行できなかった場合、支援金を使い切れなかった場合には返金を求める(所属教室の予算から負担)ことがある。

(12) その他

- ①申請書記載の個人情報は、個人情報保護法を遵守し、厳正に管理した上で、この募集を含め本事業に関連する業務上必要な範囲に限定して利用する。
- ②支援対象者については、氏名、所属、研究課題名等をホームページや事業報告書等で公開する。

(13) 問い合わせ先

女性医療人キャリア形成センター ダイバーシティ環境整備事業推進室  
eメールアドレス: cdc.bm@twmu.ac.jp

以 上